

# 会 告

## 第 53 回 真空に関する連合講演会講演募集

第 53 回真空に関する連合講演会を下記要領により開催します。今回は基調講演、シンポジウムならびに併設展示会を行いません。充実した講演会になるよう、多数の方々のご参加をお願い致します。予稿集原稿（電子送稿）ならびにプロシーディングスに関しては別記要領をご参照ください。

1. 期 日：2012 年 11 月 14 日（水）、15 日（木）、16 日（金）
2. 会 場：甲南大学ポートアイランドキャンパス（兵庫県神戸市中央区港島南町 7 丁目 1-20）
3. 基調講演：越川孝範（大阪電気通信大学・エレクトロニクス基礎研究所）  
「高輝度・高スピン偏極低エネルギー電子顕微鏡の開発と  
スピントロニクス磁性薄膜への応用」

太田賢司（シャープ株式会社 副社長）  
「モノづくり企業における環境技術」

4. シンポジウム：「省エネルギー社会の実現に貢献する半導体パワーデバイス」  
("Power Semiconductor device contributing energy saving")  
半導体パワーデバイスは電力変換を必要とする様々な場所で用いられており、省エネルギー化に大きな貢献をしています。最近ではシリコンを使ったパワーデバイスの性能が限界に近づきつつあり、ワイドバンドギャップ半導体を用いたパワーデバイスが期待されるようになってきました。本シンポジウムでは、代表的なワイドバンドギャップ半導体のパワーデバイス応用を研究されている次の 4 人の方々に、最前線の状況についてご講演いただく予定です。

講演予定者および講演予定題目

- |       |              |                                |
|-------|--------------|--------------------------------|
| 木本 恒暢 | （京都大学 工学研究科） | 「高効率電力変換用 SiC パワーデバイスの特徴と進展」   |
| 今泉 昌之 | （三菱電機株式会社）   | 「SiC デバイス開発とパワーエレクトロニクス機器への展開」 |
| 小出 康夫 | （物質・材料研究機構）  | 「ダイヤモンド半導体のパワーデバイス展開」          |
| 上杉 勉  | （豊田中央研究所）    | 「GaN パワーデバイス開発の現状と課題」          |

### 5. 特別講演：

分 野	特別講演予定者（敬称略）	講演予定題目
真空科学技術 (VST)	岡野 達雄（東京大学生産技術研究所）	表面科学における真空技術
表面工学 (SE)	長谷部 光泉（東海大学医学部）	医工産学連携プロジェクトによる次世代型生体適合性血管内治療用デバイスの開発
表面科学 (SS)	齋藤 彰（大阪大学大学院工学研究科）	放射光 STM によるナノスケール元素分析と制御
応用表面科学 (ASS)	小野 輝男（京都大学化学研究所）	電流誘起磁壁移動現象の物理と応用
薄膜 (TF)	宮澤 佳苗（伊藤光学工業株式会社）	色弱模擬フィルタ「バリエントール」の開発
薄膜 (TF)	神田 一浩（兵庫県立大学高度産業科学技術研究所）	放射光を用いた薄膜評価と DLC 膜の国際標準化
プラズマ科学技術 (PST)	田中 裕久（ダイハツ工業株式会社プラットフォーム開発部）	自動車環境技術でのプラズマ利用研究
ナノ構造 (NS)	藤沢 浩訓（兵庫県立大学大学院工学研究科）	MOCVD 法によるナノサイズ強誘電体の作製とその物性
その他(バイオインターフェース)	山田 啓文（京都大学 工学研究科）	原子間力顕微鏡による分子スケール固液界面計測の最近の動向

6. 一般講演分野（講演時間 1 件 15 分〔討論時間 5 分を含む〕、講演発表は PC プロジェクターを使用）：

分野	キーワード
真空科学技術	真空ポンプ, 真空計測, 真空材料, 流れ解析, ガス放出, 極高真空, 加速器, 真空応用技術, 真空プロセス一般
表面工学	表面改質, コーティング, 超撥水, 超親水, 溶射, 腐食防食, 焼結, 浸炭, 接合
表面科学	表面物理, 表面化学, 表面状態, 表面磁性, 表面反応, 触媒反応, 光電変換
応用表面科学	表面分析, マイクロビームアナリシス, 標準化, 表面処理, 実験技術, 電子源
薄膜	薄膜物性, 薄膜構造, 解析技術, 作製技術, 磁性薄膜, 薄膜応用
プラズマ科学技術	プラズマ計測, プラズマ源, プラズマプロセス, スパッタ, イオン技術, 核融合
ナノ構造	ナノ構造, ナノ物性, ナノ計測, TEM, SPM, CNT, グラフェン, クラスタ
電子材料・プロセス	半導体デバイス, 電子デバイス, 太陽電池, CVD プロセス, エッチングプロセス
その他	バイオナノテクノロジー, 有機電子デバイス, トライボロジー, 宇宙関連技術他

7. ポスター発表：希望の方は申込の際に「ポスター発表」を選択してください。筆頭発表者が若手会員である優秀なポスター発表を、表彰審査の対象にします。

8. 申込方法：**ウェブページからの電子申込のみです。** 日本真空学会ウェブページ (<http://www.vacuum-jp.org/>) の講演申込専用ページで、必要事項を入力の上申込んでください。入力に際しては上記ウェブページの「入力に関する注意事項」をお読みください。また、**予稿集原稿も電子送稿 (PDF 形式) のみです。** 本会告あるいは上記ウェブページ掲載の「講演予稿集原稿の書き方」にしたがって A4 用紙 1 枚サイズにまとめ、下記の期日迄に送付先に送ってください。製本した講演予稿集は講演会当日に会場にて配布します。

**申込締切 2012 年 7 月 22 日 (日) 24 時 必着**

**予稿締切 2012 年 9 月 18 日 (火) 24 時 必着 (送付先:ofc-vs@vacuum-jp.org)**

9. プログラム講演番号：8 月末日までに E-mail にて申込者に連絡します。ポスター発表に該当された方には、その際に発表要領をお知らせします。

10. 参加費：日本真空学会個人会員及び法人会員に属する個人  
 ならびに協賛学協会の会員(学生会員含む) 4000 円  
 日本真空学会学生会員 2000 円  
 非会員 5000 円  
 予稿集 2500 円

学生会員の年会費は 4000 円ですが、機関誌の配布を希望しない場合は 2000 円になります。入会を希望される方は事前に日本真空学会ウェブページ(<http://www.vacuum-jp.org/>)から入会申し込みを行って下さい。

11. 展示会：期間中に併設展示会 および 展示企業プレゼンテーションを開催します。詳細は日本真空学会ウェブページでお知らせします。

12. 懇親会：11 月 15 日 (木) に開催します。詳細は日本真空学会ウェブページでお知らせします。

13. 託児所：連合講演会での講演発表のために帰宅時間が遅くなるなどの理由で、通常の保育(保育園や幼稚園、託児室などでの保育)の範囲を超えてお子様の保育を頼まなければならない場合、小学校就学前のお子様に関り保育料の一部を援助いたします。必要な方は講演申込ページの当該欄にチェックして下さい。

14. プロシーディングス：連合講演会のプロシーディングスは「Journal of the Vacuum Society of Japan」誌に掲載する予定です。詳細は次ページあるいは上記ウェブページ掲載の「連合講演会プロシーディングスの発行について」をご参照ください。

15. その他：連合講演会の会期前または会期中に、会場にて下記の行事が開催されます。御興味のおありの方は連合講演会とあわせてご参加ください。

**(1)スクールコース (教育委員会)**

真空下での現象や薄膜作成などにおいて真空装置が必要になりますが、いざ真空装置を自分で設計・製作しようとする、どこまで圧力を下げれば良いのか、それが容易に達成できるかといった疑問、真空用材料や真空ポンプの選定などの問題が発生します。本講座では、超高真空

装置を試作する場合の諸問題について、その科学的背景（材料の放出ガス、ポンプや真空計の選択、加熱脱ガスの本質的な役割、等々）を踏まえて講義します。詳細が決まり次第、日本真空学会ウェブページでお知らせします。

## (2)産学連携委員会例会

詳細が決まり次第、日本真空学会ウェブページでお知らせします。

## (3)第3回真空・表面若手勉強会 11月12日(月),13日(火)

“真空”と“表面”をキーワードに若手研究者(助教・大学院生等)を対象とした総合的な勉強会を開催致します。本会では、①様々な物理・化学現象に対する理解の深化、②新たな課題解決方法・研究テーマの創出、③若手研究者のネットワーク形成を目指します。勉強会としての効果・参加者間の知的交流を深めるために、質疑応答時間に重きを置いた講師講演&フレンドリーな雰囲気のパスターセッションを企画しております。プログラム等の詳細は、<https://sites.google.com/site/ysurfscisem/home> に逐次掲載していきます。若手研究者の皆様、奮ってご参加下さい！  
世話人代表：杉本敏樹(京都大学)

## 16. 実行委員会

委員長 : 木村健二 (京都大学)

副委員長 : 中山明 (住友電気工業)

### プログラム

委員長 : 笠井秀明 (大阪大学)

委員 : 望月昭一(産業技術総合研究所), 安江常夫(大阪電気通信大学), 市村正也 (名古屋工業大学), 吉村武(大阪府立大学), 碓智徳(宇部工業高等専門学校), 松永崇(大阪府立産業技術総合研究所), 高橋和生(京都工芸繊維大学)

### 口頭講演会場

委員長 : 鈴木康文(大阪教育大学)

委員 : 松永崇(大阪府立産業技術総合研究所), 綿森道夫(高知工科大学), 江利口浩二(京都大学), 石川史太郎(大阪大学)

### ポスター会場

委員長 : 寺岡有殿(日本原子力研究開発機構)

委員 : 財部健一(岡山理科大学), 盛谷浩右(兵庫県立大学), 林司(日新電機)

### 展示

委員長 : 室井尋伸(大阪真空機器製作所)

委員 : 安江常夫(大阪電気通信大学), 鈴木基史(京都大学), 深沢博之(アルバック), 鈴木隆司(神港精機), 丸中正雄(新明和工業), 川西教介(キャノンアネルバ), 間瀬一彦(高エネルギー加速器研究機構)

### 広報

委員長 : 藤居義和(神戸大学)

### 懇親会

委員長 : 深沢博之(アルバック)

委員 : 友村好隆(シャープ), 横田真巳(島津製作所)

### 庶務

委員長 : 中嶋薫(京都大学)

委員 : 中西寛(大阪大学)

オブザーバー : 杉山直治 (東芝研究開発センター), 佐々木正洋 (筑波大学), 宇都宮信明 (芝浦メカトロニクス), 大岩烈 (オミクロン・ナノテクノロジー・ジャパン)

主催 : 一般社団法人 日本真空学会

協賛 (予定) : 映像情報メディア学会, 応用物理学会, 化学工学会, 原子衝突研究協会, 触媒学会, 低温工学協会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本化学会, 日本加速器学会, 日本機械学会, 日本金属学会, 日本顕微鏡学会, 日本原子力学会, 日本材料学会, 日本質量分析学会, 日本真空工業会, 日本チタン協会, 日本鉄鋼協会, 日本半導体製造装置協会, 日本表面科学会, 日本物理学会, 日本分析化学会, 日本放射光学会, 表面技術協会, 腐食防食協会, プラズマ・核融合学会

## 講演予稿集原稿の書き方

### 1. まえがき

**PDF形式のファイル**によりご提出いただいた予稿集原稿を、A4判の予稿集として当日配布（有料）します。この説明をよくお読みになった上で予稿集原稿を書いてください。また、日本真空学会ウェブページ（<http://wwwsoc.nii.ac.jp/vsj/>）の「**連合講演会**」の案内に予稿集原稿サンプルを提示しますので、あわせてご参照ください。投稿方法は、原則として**電子投稿のみ**となりますのでご注意ください。

### 2. 原稿の書き方

予稿集原稿は、以下の点に注意してワープロで作成してください。

**【サイズ】** A4判（縦）の用紙1枚に、横書きで書いてください。

**【余白】** 上22mm, 下25mm, 左右20mm程度の余白を取ってください。

**【題目】** 第1行中央に16ポイント程度のフォントで書いてください。題目の左側には、行頭から30mm程度余白を設けてください（本会にて、その余白に発表番号を記入します）。

**【著者名および所属】** 題目の下の中央部分に11ポイント程度のフォントで書いてください。登壇者氏名の前に○印を付けてください。

**【本文】** 1ページの行数を40～45行程度とし、10ポイント程度のフォントで書いてください。段組は1段組でも2段組でもかまいません。2段組の場合は、中央に8mm程度の余白を設けてください。

### 3. 図面および表

図表や写真は、ワープロ上で直接挿入してください。

### 4. 原稿の送付

**PDF形式のファイル（ファイル名は「プログラム講演番号.pdf」として）**に変換して、**E-mail添付**にて、日本真空学会事務局まで送付してください。

**【メールの件名】** 講演会予稿：プログラム講演番号 （注）「プログラム講演番号」の所には、実際のプログラム講演番号を入力してください。

**【送付先アドレス】** ofc-vs@vacuum-jp.org

### 5. 提出期限

2012年9月18日(火) 24時

### 6. その他

ポスターに発表の方も、予稿集については口頭発表と同じに取り扱います。

PDFファイルを作成できない等の不都合がありましたら、予稿集原稿を2012年9月14日(金) 必着で下記事務局まで郵送してください。

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 306号室

一般社団法人 日本真空学会 TEL：03-3431-4395 E-mail：ofc-vs@vacuum-jp.org

## 連合講演会プロシーディングスの発行について

今回の連合講演会のプロシーディングスは、「Journal of the Vacuum Society of Japan」誌 Vol. 56 (2013)に掲載する予定です。

1. プロシーディングス掲載の論文は、「速報」（口頭発表，ポスター発表に対応，真空科学・技術・応用に関連する分野の新しい現象，工夫，考案など，速報的内容を持つ原著報告）とします。英文アブストラクト，本文，図表を含めて刷上り A4 判 3 頁以内を原則とします。用語は日本語（英語も可）としますが，英語の表題・著者名・所属研究機関名をつけてください。
2. 但し，シンポジウム講演および特別講演に関しましては，「解説」（刷上り A4 判 8 頁以内）の投稿も受け付けます。
3. 投稿規程と投稿原稿テンプレートは日本真空学会ウェブページの「編集委員会」の「投稿案内」（<http://www.vacuum-jp.org/EDT/edthome.html>）に掲載されております。原則として，このテンプレートを用いて原稿を作成ください。併せて，日本真空学会のウェブページ <http://www.vacuum-jp.org/> も参照ください。
4. プロシーディングス原稿は日本真空学会編集委員会ウェブページに記載されている方法で 2012 年 11 月 9 日（金）までに電子投稿してください。
5. 投稿時には「学会等での発表」欄に発表番号を明記してください。
6. 投稿された原稿は，専門家に査読を依頼して，その評価結果に基づき，編集委員会で掲載の可否を決定します。投稿時に査読者候補の推薦をお願いします。
7. 査読状況等により遅延が生じて「Journal of the Vacuum Society of Japan」誌プロシーディングス掲載号に間に合わなかった「解説」もしくは「速報」は，それ以降の号に掲載されます。

## 「第 53 回真空に関する連合講演会」における優秀ポスター発表の表彰について

日本真空学会 講演・研究会企画委員会

第 53 回真空に関する連合講演会が、2012 年 11 月 14 日（水）～2012 年 11 月 16 日（金）の 3 日間、甲南大学ポートアイランドキャンパス（兵庫県神戸市中央区港島南町 7 丁目 1-20）で開催されます。日本真空学会講演・研究会企画委員会は、第 53 回真空に関する連合講演会のポスター発表の中から、優秀ポスター発表を選出し表彰します。

- 1) 優秀ポスター発表の表彰は、日本真空学会講演・研究会企画委員会の活動の一環として行います。
- 2) 優秀ポスター発表の選出方法は、次のとおりです。
  - ・ 第 53 回真空に関する連合講演会のポスターセッションに投稿した発表のうち、筆頭発表者が 2012 年 4 月 1 日時点で 40 歳未満であり、優秀ポスター発表の審査に応募した発表を表彰審査の対象にします。
  - ・ 日本真空学会講演・研究会企画委員会の定めた審査委員の審査により優秀ポスター発表を選出します。
  - ・ 優秀ポスター発表の審査に応募した場合でも当日筆頭発表者が発表を行わなかった場合は審査の対象とはなりません。
  - ・ ポスター発表終了後に審査結果を集計し、優秀ポスター発表を選出します。
  - ・ 優秀ポスター発表の筆頭著者を懇親会に招待し、懇親会において表彰式を行います。また該当ポスターを懇親会場に掲示していただきます。
- 3) 優秀ポスター発表に選ばれた発表題名と発表者は、「Journal of the Vacuum Society of Japan」誌 Vol.55, No.12 に発表します。